

セガレは、サークル活動でも趣味でも仕事でもない。自分プロジェクトです。

農家を継ぐという意識はなく、大学卒業後、東京の玩具メーカーに就職。3年後に大阪に転勤したときは、週末によく実家に帰っていました。両親は、「お帰り。何か食べなさい」とごはんを出してくれて、「東京のウェブ制作会社に転職する」と言ったときも「そうしたらいいよ」と。なんてことはないやりとりですが、僕にとっては家族や実家のありがたさを実感するものになりました。

胸に再び東京。自分を振り返る意味でも「農業」というワードにひっかかり、農業をテーマにしたビジネススクールを受講。そこでセガレのメンバーと出会って、仕事をしながら活動を続け、08年には、茨城県の酒蔵の伴、廣瀬慶之助さんに出会いました。「うちのオヤジの米をつかって日本酒をつくれませんか」という投げかけから話が進展、オヤジナカセができました。オヤジと



0歳の敦さんとお父さん。



出身 兵庫県加西市
実家でつくっているもの 酒米(山田錦)、丹波の黒豆
主な活動 日本酒「オヤジナカセ」がこの春、完成!

語らう、家族で語らうときに飲まれる酒になつたらいいと思います。セガレが面白いのは、継ぐ継がないを決められない、グレイの部分をフォローしている団体だから。「実家、継ぐ?」なんて話を、会って2秒でし

て、お互いの背景にあるものを最初から共有し合う。グレイな部分を共有し、みんな一歩踏み出そうとしている。すべてはグレイから始まるんだと思います。セガレでは否応なく実家や家族をかえりみ

ます。趣味でも仕事でもなく、この状況に生まれてきた自分だからこそできるものがある。オヤジの酒は僕にとつてそんな「自分プロジェクト」なんだと思つてやっています。



出身 青森県十和田市
実家でつくっているもの 花、米
主な活動 セガレツーリストジャパン

セガレはいつか卒業するもの。ニンニクラブというプロジェクトを始めました。

私は花卉農家の次女で、小さいころはハウスで遊んだり、手伝ったりしていました。中学生になると、作業着姿の両親を見られたくなくて、友だちを連れてくるのがためらわれました。でも高3で進路を決

めるとき、母から「絵が得意だから、絵の道に進んで」と言われ、本当にうれしかった。東京の短大を卒業し、グラフィックデザイナーとして就職。1年半前からフリーランスでデザインの仕事をしています。実家のために何かできない

父・松田 勝さん
娘は農業を知らなかったのですが、花や野菜を送ってほしいと言われたとき、なぜ?と思いました(笑)。私に似てのめりこむタイプなので、本職に差しさわりのないように、と言いました。ニンニクラブは、農家と消費者を直接結びつけられたら面白いと思います。7月の十和田市へのツアーでは、長いもなどの農家も見てもらいたいね、と話しています。



2009年、結婚式で、母・秀子さんと。

実家のりんごが売れるとうれし、誇らしい気持ちになります。

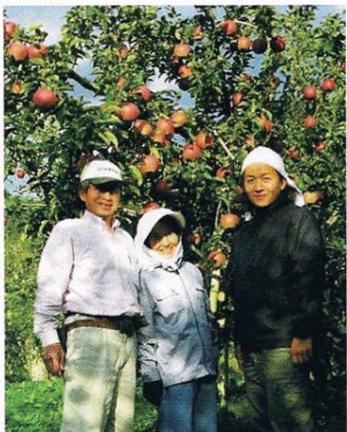


下/夏のしたみち農園。

出身 岩手県一関市
実家でつくっているもの りんご、ブルーベリー
主な活動 セガレマーケット

左/及川さんの両親と、農家を継いだ兄の務さん。

下/子どものころの和子さん(右上)、妹の佑子さん(中央)、兄の務さんと父。妹さんはりんごをしゃぶっています。



父・及川博徳さん

娘はりんごのことをあまり知らなかったのに、セガレのマーケットに参加するようになって、酸味、硬さ、日もちなどを考えて、りんごの種類を発注してくるようになりました。フリーペーパーは、彫刻家のことなど、よく細かいところまで見ているなと感心しながら読んでいます。体を大切に、頑張ってください。



上/カーネーションなどを育てるハウス。下/出荷されるカーネーション。左/川嶋さんがデザインしたキャラクター。地元の活性化のために活躍します。

ニンニクラブのHP URL:http://ninnic.jp/ ツアーのお問い合わせ MAIL:aya@segare.jp



私ひとり農家の長女ですが、子どものころは時々手伝う程度。東京への憧れもあり、親元から離れたいと少し背伸びもして、東京の大学の法学部に進みました。今は広告代理店に就職して7年目です。3年前、祖母がくも膜下出血で倒れ、東京で就職していた兄が実家を継ぎました。セガレは昨年の春、兄が雑誌で見つけ、メールマガジンに登

録したんです。兄と一緒にマーケットに行ってみたら、本当に楽しそうだったので、私もりんごやブルーベリーを売るようにになりました。実家では50種類もりんごを栽培していてすべて味が違うことなど、改めて気づかされました。東京のお客さんは無農薬や有機に関心がある方も多く、試食や会話が大事だと知り説明ができるようになって、「娘さ

んからりんごを買っておいしかったから買います」と実家に連絡がいくとうれしです。4年前から、地元・岩手で頑張る人や文化を紹介するフリーペーパーを同級生とつくっています。読んだ方からの手紙や声が大きな喜びです。また最近、おしゃれな「野良着」をつくるうと企画中です。農作業の現場にもデザインを取り込めたいと思います。